

令和6年度 第1回宇部市史編さん委員会議事録

1 開催日時及び場所

令和6年5月2日（木）14:00～15:30

宇部市役所3階 3-4会議室

2 出席者

委員

脇和也（委員長）、内田鉄平（副委員長）、岩元修一、三浦房紀、村上隆、安井敬子
市

古林学（総合政策部長）、田中弓子（市史編さん室長）、竹原よしえ（市史編さん室）、
唐沢陽司（同室）、植野麗子（併任：学びの森くすのき館長）、石川健（併任：学びの
森くすのき）、北野瑞貴（併任：同館）

3 議事

- (1) 市史編さん専門部会の報告等について
- (2) 令和6年度編さん事業計画について
- (3) その他

4 別添資料

資料1 宇部市史編さん3部会会長会議結果について（報告）

資料1（別添） （第1回宇部市史編さん部会長会議）

資料2 「宇部市史」著作権の取扱いに関する覚書（案）【非公開】

5 会議要旨

開会 委員長挨拶 事務局紹介	
議事 (1) 市史編さん専門部会の報告等について	
事務局	<ul style="list-style-type: none">・編さん委員会開催に先立ち行われた専門部会3部会会長会議結果について 資料1報告があり、要望・確認等に対し、事務局が回答。・市史編さんにおける著作者人格権の確認など、著作権をめぐる市と執筆者との間で覚書を締結することについて → 市が資料2覚書（案）を作成。承認された。・考古分野の調査研究の必要から、古代・中世部会が旧楠町の古墳等の測量調査を行うことについて → 旧楠町には町史がなく、古墳と遺跡等の調査に不十分なところがある。古代・中世部会委員と打ち合わせ、今後、必要に応じて遺跡の現況調査をしていく。・旧楠町史の近世部会と古代・中世部会で、資料編を作成することの確認について → 基本方針で、旧楠町史については通史編を作成するとあり、事務局は

	<p>通史編のなかに資料を溶け込ませて作成するものと認識していた。どのくらいの分量になるか今のところ未定だが、資料編作成については承知した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧楠町史の近現代に関する担当について <p>新たに近現代部会を1つ増やし、且つ近世部会の内田会長が近現代部会の部会長として兼任。近現代部会委員については1名増やすことが要望され、委員会で承認された。</p> <ul style="list-style-type: none"> → 承知した。 <ul style="list-style-type: none"> ・収集された資料の公開やその後の保存について <ul style="list-style-type: none"> → 今のところ博物館である学びの森くすのきの収蔵庫に入れていこうと考えている。燻蒸や埃、虫カビ等の対策もある。保存については、宇部市全体で取り組む課題の中の一つとして考えたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・市史編さん室以外の市の職員が編さん業務に携わる場合について <ul style="list-style-type: none"> → 市の規程に基づくため、市史編さん室に相談いただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・各専門部会を年2～3回開催、リモート参加も可とする案、資料調査を3～4回行う案について <ul style="list-style-type: none"> → 承知した。案内送付や会場確保が必要なため、早めにご連絡をいただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・覚書は、将来、市史完成の際に著作権に関するトラブルが起きないためのもの。人権問題など、今後も議論の機会を作っていかななくてはならない。 ・指針になるものを作っておき、執筆者はそれをルールとして書くような形にしておいた方が、後で混乱しないで済むと思う。 ・測量の技術は、すごく進んでいる。新しい技術をどんどん取り入れていただきたい。国の補助金なども活用してもらいたい。 ・(近現代部会の) 土井委員には、新たな旧楠町史近現代部会にもご協力いただきたい。 ・新たな近現代部会の第1回を夏頃に行いたい。 ・資料の保存については、デジタル技術を活用する新しいテーマもある。市全体で考えていく問題である。 ・宇部市には、郷土史・歴史以外にも隠れた文化人がたくさんいる。こうした人材の発掘も市史の大事な仕事である。市民の方々が興味を持ってもらえるような趣旨で、執筆も調査もしてもらいたい。 ・リモートを活用することにより、部会会議で出張費を使うよりも、資料調査のための現地に行けるようにしたい。
<p>(2) 令和6年度編さん事業計画について</p>	

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宇部近現代部会 7月後半から8月にかけて部会を開催予定。 また市史編さん事業のPRを兼ねて市民向けに歴史講演会を開催予定。その際にも部会を開催する。 ・ 近世部会 7月下旬あたりに開催予定。執筆の編さんの方法は重要なテーマである。ある程度統一するのかを3人の部会長で考えないといけない。 ・ 古代・中世部会 8月までに今年度1回目の部会を開催予定。執筆の土台になる部分を固めていく（たとえば執筆要領や校訂（校正）要領の作成など）。 ・ PR活動や成果の報告を市のホームページ（デジタル）や、郷土史研究会、地元紙も活用して広報してほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古墳調査について、広報うべ7月号に掲載予定。また、定期的に市史編さんの活動を載せていく。
(3) その他	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月末で任期満了となる。更新のお願いを郵送させていただくので、ぜひ引き続き委員をお願いしたい。 ・ 次回の編さん委員会については、専門部会が今年度活発に動いているため、柔軟な日程調整をしていきたい。委員会は、報告するものがある程度出揃ったときに開催させていただきたい。 ・ 欠席が続く委員には、事務局から意思確認を行う。 ・ 新しい部会委員については、委員会の承認を受けて進めたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3部会の担当（執筆）時代が重ならないように、3部会長だけの会議で調整しないとけない。 ・ 7・8月に各専門部会を開くため、次回の委員会は10月を目途に開き、どういう書き方をするかを議論して決めていきたい。
委員長	<p>以上で第1回宇部市史編さん委員会を閉会する。</p>